

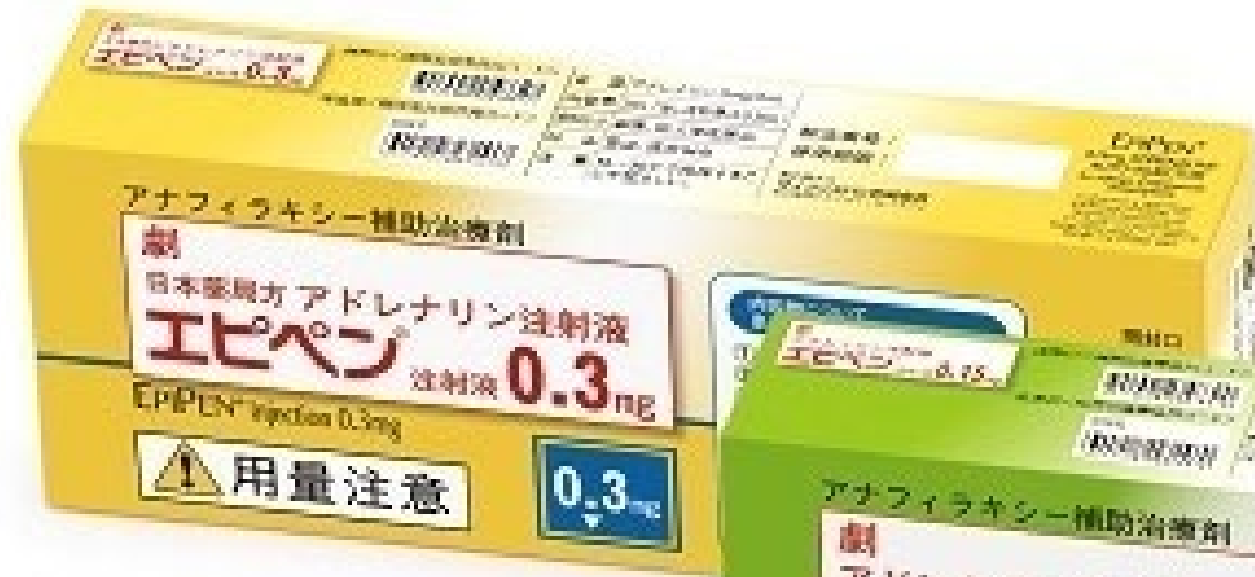
# エピペンの使用について



水戸薬剤師会  
石井 典一

小沼 祐之

子供用



# エピペンを使用するシチュエーション

1.自宅での対応

2.学校での対応

3.平時以外の対応

# 「学校のアレルギー疾患に対する取り組みのガイドライン」

- 気管支喘息
- アトピー性皮膚炎
- アレルギー性結膜炎
- 食物アレルギー・アナフィラキシー
- アレルギー性鼻炎



## ワンポイント「エピペン®」について

### ①開発の経緯

血圧が下がり、意識障害などがみられるいわゆる「ショック」の状態にある患者の救命率は、アドレナリンを30分以内に投与できるか否かで大きく異なります。アナフィラキシーショックは屋外などでの発症が多く、速やかに医療機関を受診することができないことが多いため、アドレナリン自己注射薬「エピペン®」が開発されました。



主に林業に従事する方が山でスズメバチに刺された時などの対処に必要とされていた



## ②アドレナリンの作用

アドレナリンはもともと人の副腎から分泌されるホルモンで、主に心臓の働きを強めたり、末梢の血管を収縮させたりして血圧を上げる作用があります。エピペン®はこのアドレナリンを注射の形で投与できるようにしたものです。

## ③副作用

副作用としては効果の裏返しとして血圧上昇や心拍数増加に伴う症状（動悸、頭痛、振せん、高血圧）が考えられます。動脈硬化や高血圧が進行している高齢者などでは脳血管障害や心筋梗塞などの副作用も起こりえますが、**一般的な小児では副作用は軽微であると考えられます。**



アナフィラキシーの進行は一般的に急速であり、「エピペン<sup>®</sup>」が手元にありながら症状によっては児童生徒が自己注射できない場合も考えられます。「エピペン<sup>®</sup>」の注射は法的には「医行為」にあたり、医師でない者（本人と家族以外の者である第三者）が「医行為」を反復継続する意図をもって行えば医師法（昭和23年法律第201号）第17条に違反することになります。しかし、アナフィラキシーの救命の現場に居合わせた教職員が、「エピペン<sup>®</sup>」を自ら注射できない状況にある児童生徒に代わって注射することは、反復継続する意図がないものと認められるため、医師法違反にならないと考えられます。また、医師法以外の刑事・民事の責任についても、人命救助の観点からやむをえず行った行為であると認められる場合には、関係法令の規定によりその責任が問われないものと考えられます。

---

# エビペンの管理

- 保護者と教職員の共通理解（どこまで、だれが、何をするのか？）
- 学校内での共通理解（保存、管理、打つタイミング）
- 保護者が行うべきこと（有効期限、破損の有無などの確認）



## 平時以外の対応

➤ 旅行先（宿泊学習・修学旅行）

➤ 災害時  いつ遭遇するかわからない

# 災害時の3Sの原則(安全確保)

- 自分 (SELF)
- 周りの状況 (SCENE)
- 周りの人 (SURVIVOR)

最も重要



重要

# 災害時の3Sの原則(安全確保)

## •自分 (SELF)

- ▶ 避難用リストにエピペンを入れる
- ▶ 場合によってはも一本処方してもらう
- ▶ 避難所などにおいては周囲への理解も必要



必要なことをリスト化しておく

## ● エピペンのしくみ

### 青色の安全キャップ

視認性を高め誤注射を防ぐ安全機能

### 人間工学的に設計された 握りやすい持ち手

しっかり握れて、持ちやすい

### 分かりやすい イラスト付き取扱説明

イラストが大きく使い方がすぐに分かる

### 開けやすい ワンタッチ押し上げ式 携帯用ケース

片手で簡単に開けられる



### 内蔵されたオレンジ色の ニードルカバー

使用前も使用後も、針が露出しない  
(安全性が向上)

使用前

使用后



### 明るいオレンジ色の先端

先端(針先)がすぐに見分けられる

①



②



注意！

あくまでも緊急対応方法です  
ので、使用後は速やかに病院  
を受診してください